学校番号	１００７

令和３年度　理科

教科	理科	科目	地学基礎	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	地学基礎						
使用教科書	「改訂 地学基礎」（東京書籍）						
副教材等	「ニューサポート 改訂 地学基礎」　（東京書籍）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

地球や地球を取り巻く環境を理解して、エネルギー問題・環境問題・災害への関心を持てるように積極的に授業参加し、理解を深めて欲しい。

２　学習の到達目標

地球と地球を取り巻く環境への関心を高め、目的意識を持って探求する態度と理解することに心掛けられるようにする。地学の基本的な法則や原理を理解し、地学的な観点で、ものの見方や考え方ができるようにする。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c: 観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	地球環境について関心を持ち、意欲的に学習しようとするとともに、地学的な考え方が身についてくる。	地球の構造と活動する地球に関する事象・現象を的確に判断できる。	簡単な実験や図説・データをもとに、科学的に考察することができる。	地球・宇宙に関する基本的概念と現象を理解し、科学的な見方ができるようになる。
評価方法	地学に対する関心と学ぶ意欲を授業中の態度等で評価する。	説明と解説から見出す科学的判断力を発問等で評価する。	図説を利用して様々な現象をレポートする際の様子を評価する。	各単元について、プリント・問題集等で復習理解の到達度を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1ターム	私たちの宇宙の進化	宇宙の構造と進化 ①ビッグバンと宇宙の誕生 ②天体の誕生 ③恒星としての太陽の進化とその最後 ④銀河と天の川銀河 ⑤銀河の集団と宇宙の大規模構造	○			○	a:銀河について興味を持ち、分布や宇宙の姿に関心を持つ。 b:銀河系の構造について考えることができる。 c:銀河に関するデータから銀河の分布等を分析できる。 d:銀河系の構造、宇宙の誕生と構造がわかる。	学習状況 ノート ワーク プリント 課題 定期考査
		太陽と惑星 ①太陽系の誕生 ②太陽系天体の特徴 ③太陽 ④太陽の活動と地球への影響 ⑤太陽系の広がりと地球	○	○		○	a:太陽系の姿に興味を持つようになる。 b:太陽系の天体の特徴を理解する。太陽との関係を知る。 c:太陽光スペクトル観察ができる。 d:太陽系の天体の特徴と違い、太陽との因果関係などを考えることができる。	
第2ターム	私たちの地球の変遷と生物の進化	地層や岩石の観察 ①地層の形成 ②地質構造 ③変成岩 ④地層と古環境	○		○	○	a:地表の変化への興味と、地層、化石について調べようとする。 b:地層が形成される仕組みを理解できる。 c:堆積岩を観察したり、化石を観察し、地質の理解へと発展させる。 d:流水のはたらき、地層、地質構造がわかる。	学習状況 ノート ワーク プリント 課題 定期考査
		生命の変遷 ①地球史の最初期 ②先カンブリア時代 ③古生代 ④中生代 ⑤新生代	○	○	○	○	a:古生物の変遷と地球環境の変化を調べようとする。 b:大気や海洋の変化と生命活動の関係を理解できる。 c:図説で地球の変遷を理解できる。 d:地球の誕生から生命の誕生、そして地球の歴史を理解できる。	

第3ターム	私たちの大地	大地とその動き ①地球の形と大きさ ②地球の構造 ③地球内部の動き ④プレートの境界	○	○	○	○	a:地球の特徴に興味を持ち、地球の形と大きさ、内部構造などを調べようとする。 b:地球の形の特徴と大きさを観察や測定の結果などから考えることができる。 c:地形図から地球の形、大きさを測定することができる。 d:地球のかたちの特徴と地球の大きさを理解できる。	学習状況 ノート ワーク プリント 課題 定期考査
		地震と火山 ①地震のメカニズム ②海溝の地震 ③活断層の地震 ④火山ができる場所 ⑤火山活動の多様性 ⑥火成岩の観察	○	○		○	a:プレートの分布と運動、それに伴う地形の変動や形成に興味を持つ。 b:プレートの運動によって地形形成がされることを理解できる。 c:衛星画像を使って断層などを探すことができる。 d:プレート運動と地震の発生・火山活動の仕組みがわかる。	
第4ターム	私たちの空と海・地球のこれから	大気と海洋 ①地球の大気 ②地球の熱収支 ③大気の大循環 ④海水とその運動	○	○		○	a:大気圏の層構造に興味を持ち、調べようとする。 b:気温や気圧、水の循環などについて考えることができる。 c:圧力実験や各地の観測データを処理分析できる。 d:大気の組成と大気圏の層構造が理解できる。	学習状況 ノート ワーク プリント 課題 定期考査
		日本の自然の恵みと防災 ①日本の自然環境の特徴 ②自然の恵み ③地震による災害と防災 ④火山による災害と防災 ⑤気象災害と防災 ⑥災害と人間のかかわり	○			○	a:日本の自然環境が，人間生活と深くかかわっていることに気づき，興味・関心を示している。 b:地理的特徴から日本の自然環境の特徴を理解できる。 c:自然環境の変化をデータを用いて科学的に考察することができている。 d:地球規模の自然環境の変化が科学的に理解できている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。